

『明解国語総合改訂版』（国総339）についてのシラバス案

科目 国語総合	単位数	4 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『明解国語総合改訂版』（三省堂）

2 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

3 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

第 1 学 期									
月	学習のねらい 「学習指導要領」の 指導事項	配 当 時 間	言語活動例	教材	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲	
4	○「私」とコーヒー屋の人たちとの結びつきの深まりを読み味わう。 ○できごとと、それに対する思いとを関連づけて捉える。 C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア) (イ)・ウ(ア)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	角田光代「ベトナムのコーヒー屋」	関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し、文中で示される人と人とのあたたかい交流について読み味わい、感じ取ろうとする。	旅先での「私」の状況、心情、その変化を理解し、深く捉えようとしている。	行動の観察	第1学期中間考査
					読む能力	描かれたエピソードから「私」の心情がどのように変化し、コーヒー屋の家族とどのように絆を深めていったかを理解している。	コーヒー屋の家族との交流をとおして「私」が得たものは何だったのか、人物の心情や考え方を理解している。	記述の確認	
					知識・理解	常用漢字の音訓の読みを理解している。	文中に出てくる常用漢字が音読できている。	行動の観察	
	○勝ちにこだわることの多い現代社会の問題点とは何かについて、考えを深める。 ○「適切な負け方」「意義のある敗北」などのキーワードに着目して、筆者の主張を捉える。 C読むこと(1)イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア) (イ)・ウ(ア)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	内田樹「負け方を習得する」	関心・意欲・態度	現代社会で生きていく上でどのような考え方を身につければよいか、筆者の主張を文章から読み取ろうとする。	文章のタイトルや文章中のキーワードの意味を捉え、具体例をもとに展開される筆者の主張を読み取ろうとしている。	行動の観察	
					読む能力	「適切な負け方」などのキーワードの意味を捉え、筆者の主張の要点を理解している。	タイトルやキーワードの意味と、具体例で表されている筆者の主張の要点を理解している。	記述の確認	
					知識・理解	中学校までに学んできた主な常用漢字が書けている。	中学校までに学んできた主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の確認	
	○自分のことをわかりやすく具体的にスピーチするための姿勢や方法を身につける。 ○他者のスピーチを聞き、これからの自分のスピーチに役立てる。 A話すこと・聞くこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア) (イ)	2	A話すこと・聞くこと(2)ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。	自分を印象づけるスピーチ 自分を漢字で表すと？	関心・意欲・態度	自分のことをわかりやすく印象的にスピーチしようとする。	自分を表現する印象的な漢字一字について考えようとしている。	行動の観察	
					話す・聞く能力	どうしたら自分のことをわかりやすく印象的に他人に伝えられるか、自分の考えをもっている。	自分のことを具体例に基づいて印象的にスピーチできている。	行動の観察	
					知識・理解	スピーチに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法について理解している。	スピーチ原稿に必要な文章の組み立てや語句の意味・用法を理解し、適切な原稿を作成している。	記述の確認	
	○繰り返し音読することで、古典文学の言葉の響きを感じ取り、その美しさを味わう。 C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)	1	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。	古典の響き	関心・意欲・態度	音読することで、古典文学の言葉の響きを味わおうとする。	繰り返し音読することで、古典文学の響きを感じ取り、その美しさを味わおうとしている。	行動の観察	
					読む能力	それぞれの作品を表現の特色に注意して読んでいる。	それぞれの作品の種類や類型、文体の違いなどをふまえて読んでいる。	行動の確認	
					知識・理解	歴史的仮名遣いが現代語とは違うことを理解している。	歴史的仮名遣いの表記と読みの違いについて理解している。	行動の確認	

5	○古語が現代でも使われている例や、「更級日記」の例から、古文への関心を深める。 ○歴史的仮名遣いに注意しながら「児のそら寝」を音読し、児と僧たちの思いを読み取る。 C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)イ・イ(ア)	3	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	「古文の世界へ」 古文入門「児のそら寝」(宇治拾遺物語) 古文のとびら1	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	音読しながら、説話の面白さを味わおうとする。 登場人物の心情や行動に注意して、場面を理解することができる。 歴史的仮名遣いや古語というものについて理解している。	音読しながら、説話に登場する「児」と「僧たち」の心理の面白さを理解しようとしている。 場面ごとの登場人物の心情や行動の意味を捉え、作品の面白さを理解している。 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの音韻・表記の違いなどについて理解している。	行動の観察 行動の確認 記述の確認
	C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ・イ(ア)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	古文入門「検非違使忠明」(宇治拾遺物語) 古典文法の要点1	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	登場人物の性格や気持ちを想像しながら、説話のおもしろさを味わう。 口語訳や脚注をもとに、描かれた状況を理解することができる。 歴史的仮名遣いや古文独特の言葉の意味を理解する。	登場人物の性格や気持ちを想像しながら説話のおもしろさを理解しようとしている。 登場人物の動きや主人公忠明が置かれた状況を的確に理解している。 歴史的仮名遣いを正確に音読することができ、古文独特の表現を理解している。	行動の観察 記述の分析 記述の確認
	○少年とそれを支える母親、二人を見守る宿の人たちの交流と心情を読み取る。 ○登場人物を、その言動から捉え、人物像を明らかにする。 ○映像化された小説に関する本を読み、メディアによる表現の違いについて考えを深める。 C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(イ)ウ(ウ)	4	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	三浦哲郎「とんかつ」	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	描かれた人物の人物像や心情を理解し、その言動の意味を表現に即して捉えようとしている。 描かれた人物の人物像や心情を理解し、その言動の意味を、表現に即して捉えている。 文章の組み立て、語句の意味、用法および表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	登場人物たちそれぞれの思いと、言動の意味を、それぞれの立場から捉えようとしている。 少年および母親や宿のおかみの思いと、言動の意味を、それぞれの立場から捉えている。 段落相互の関係を捉え、文脈上の語句の意味や漢字の使い方などを理解している。	行動の観察 記述の確認 記述の確認
	○公園で拾った本が男の子の心情にもたらした変化について考える。 ○小説中の表現の特徴を捉え、その表現に託された男の子の心情を明らかにする。 C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(イ)ウ(ウ)	6	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	宮下奈都「オムライス」 ブックガイド1	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	主人公のおかれている状況を理解し、最後に至った主人公の心情について自分なりの考えをもつ。 小説中の表現から登場人物の人物像や心情を読み取り、場面の推移と人物の心情の変化を理解する。 常用漢字の音訓や難解な語句の意味を理解し、読んだり書いたりし、短文などのなかで使用する。	男の子のおかれている孤独な状況を想像し、他者や自分自身とつながることについて、自分の考えをもとうとしている。 比喩表現や象徴的な表現から登場人物の人物像や心情を読み取り、小説中におけるその変化を理解している。 出てくる常用漢字の読みに慣れ、書けるようになるとともに、難解な語句の意味を調べ理解する。	行動の確認 記述の点検 記述の点検
	○石仏の写真を見て、その表情や雰囲気から発言・会話を想像し、考えて発表する。 A話すこと・聞くこと(1) ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(イ)ウ(ウ)	2	A話すこと・聞くこと(2)ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。	なんて、言っている？	関心・意欲・態度 話す・聞く能力 知識・理解	写真を見て想像力をはたらかせ、その表情の特徴を見いだそうとする。 写真を見て想像した発言・会話の内容を、わかりやすく、効果的に発表している。 発表に際しての語句の意味、用法などが適切なものになっている。	石仏たちの豊かな表情に関心をもち、その様子を言葉に表現しようとしている。 発表の内容がわかりやすく、聞き手を納得させるような話し方になっている。 石仏の発言・会話に「せりふ」にふさわしい言い方が工夫されている。	行動の観察 行動の分析 行動の分析
	○漢文訓読法は日本で創出されたものであり、漢文は日本の古典であることを理解する。 ○何度も繰り返し音読して、漢文の読み方について理解する。 C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)イ・イ(ア)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	漢文の世界へ 故事成語	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	漢文の意義について理解し、故事成語について考える。 音読して漢文独特のリズムに慣れる。 訓読漢文と書き下し文は日本特有の文化であることを理解する。	漢文を学びたいと考え、故事成語を実際に使ってみたり、調べたりする。 歴史的仮名遣いを間違えずに読み、故事成語の意味を理解することができる。 返り点があるところは、日本語と語順が違うことを理解しており、なぜ違うのかを考える。	行動の観察 行動の観察 行動の観察
	○何度も音読し、「虎の威を借る」の意味について理解を深める。 C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択	虎の威を借る 訓読のきまり	関心・意欲・態度 読む能力	漢文に関心を抱き、故事成語に興味を持つ。 場面を理解し、登場人物の心情を考えることで、故事成語の面白さを味わう。	「虎の威を借る」の成り立ちを理解し、日常に故事成語が多く存在することに気付く。 登場人物の場面状況を把握し、その状況に相応しい心情を述べることができる。	行動の観察 記述(発表)の点検

6	(ア)(イ)・イ(ア)		扱してまとめること。		知識・理解	訓読法を理解する。	返り点を理解し、訓読漢文を書き下し文に改めることができる。	記述(発表)の点検	第1学期期末考査
	○限られた言葉でつづられた詩から、「わたし」が抱いている「おもいのたけ」とはどのようなものなのか、考える。 C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)	1	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	石津ちひろ「シリウス」	関心・意欲・態度	詩に描かれた情景描写と「わたし」の思いとの関係について考えようとする。	「わたし」が、いつ、どこで、何をしているのか、詩の場面について思いをめぐらそうとしている。	行動の観察	
					読む能力	詩のタイトルや、使われている言葉がもつ意味を的確に捉えている。	「シリウス」という詩のタイトルや、詩の中の中心となる語に込められた意味を読み取っている。	行動の観察	
					知識・理解	詩の言葉の一つ一つがもつ意味を捉え、それが象徴しているものは何か、理解している。	平仮名で書かれた詩の中で、一つだけ使われている「シリウス」という片仮名語が表している効果について理解している。	行動の観察	
	○詩における比喻や表記上の工夫を捉え、「私」の思いを明らかにする。 C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)	1	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。	石垣りん「シミ」	関心・意欲・態度	描かれた情景を想像し、「私」の心情を捉え、読み味をおもうとする。	時間や場所、細部の情景をとらえ、ここでの「私」の心情を理解し、自分の考えをもとらえている。	行動の観察	
					読む能力	比喻や表記のもつ表現効果に注目し、描かれた情景や心情を読み味わい、人間や社会に対して、自分の考えをもっている。	詩の表現の特殊性に気づき、その意味するところを捉えて「私」の心情を理解し、社会や人間に対して考えを深めている。	記述の確認	
					知識・理解	詩の構成、表記の仕方などに着目し、表現上の効果を理解している。	詩の構成を捉え、片仮名書きの意味やその表現効果を理解している。	行動の観察	
	○詩に描かれた情景を豊かに想像しながら、「わたし」が「あなたたち」に抱いている思いを明らかにする。 C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)	1	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。	小野十三郎「校庭で」ブックガイド2	関心・意欲・態度	詩の中の「わたし」と「あなたたち」との関係について深く考える。	タイトルにもある「校庭」という言葉から、先生が生徒たちを大切に思っている語りかけている詩だと読み取っている。	行動の観察	
					読む能力	詩の中の「未来」という言葉がどのような意味をもつのかを的確に捉える。	「未来」には、明るい一方ではなく、さまざまな意味が込められていることを理解している。	行動の観察	
					知識・理解	詩の言葉の一つ一つが何を象徴しているのかを捉え、作品世界を理解する。	詩の言葉を手がかりに、「あなたたち」のはつらつとした様子や、「わたし」の深い愛情を読み取っている。	行動の観察	
	○自分と隣の友達の紹介文を書くことをとおして、自己を客観的に見つめる視点を見いだす。 B書くこと(1)イ・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)	1	B書くこと(2)イ 出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。	隣の友達	関心・意欲・態度	自分と友達との違いを客観的な視点から捉えようとする。	自分と友達との違いを、具体的な経験を通じて客観的に捉えようとしている。	行動の観察	
					書く能力	一つの文章の中に、自分と、友達という他人を表現することにより、人に対する見方を深めている。	自分と他人とを客観的に見つめる視点を持ち、短い文章に端的にまとめている。	記述の確認	
				知識・理解	指定された字数や語の制限の中で、文章を適切に組み立てている。	二百字という短い制限字数内で二つの部分からなる文章を書き、文章を組み立てている。	記述の分析		
○できごとの原因や経過とその結果をたどりながら、周囲の人々の反応と主人公像を読み取る。 C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(イ)	1	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	公世の二位のせうとに(徒然草) 古典文法の要点2	関心・意欲・態度	人々が良覚僧正の行動や性格を、どのように見ていたのか捉えようとする。	人々が良覚僧正のことをどのように思っていたのか考え、意見を出そうとしている。	行動の観察		
				読む能力	主人公が、それぞれの呼ばれ方になった原因を読み取っている。	良覚僧正が、それぞれの呼ばれ方になった原因を読み取り、的確にまとめている。	記述の分析		
				知識・理解	我が国の中世文学の代表作である「徒然草」の文学史的意義を理解している。	「徒然草」の文学的意義と、その中心的な思想や時代背景について理解している。	記述の確認		
○会話に注意して、場面の様子や登場人物や筆者の思いを捉える。 C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)(イ)	1	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	高名の木登り(徒然草)	関心・意欲・態度	話の内容を自分の経験と結びつけて理解しようとする。	「木登り」と「鞠」の共通点について自分の経験と結びつけて考え、意見をだそうとしている。	行動の観察		
				読む能力	物語にこめられた教訓の意味を読み取っている。	登場人物の言葉の意味を理解し、主題へと結びつけていくその意図を読み取っている。	記述の確認		
				知識・理解	重要古語の意味を理解している。	重要古語の意味を整理し、理解している。	記述の確認		

○展開を読み取りながら、登場人物の言動や結末の描き方をおして、筆者の文章表現の巧みさを味わう。 C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)	1	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	丹波に出雲といふ所あり(徒然草)	関心・意欲・態度	状況設定と登場人物の言動をおして、人物像やその思いを想像することができる。	状況設定や登場人物の言動を分析しながら、人物像を把握したり、言動の背景にある人物の思いを想像しようとしている。	行動の観察
				読む能力	文章の構成、展開と、結末の面白さを読み取ることができる。	文章の構成や話の展開を正確に把握し、結末をもたらした原因・理由を分析することができる。	行動の確認
				知識・理解	歴史的仮名遣いの読み、重要語句、歴史的な背景などを理解する。	正しく音読ができ、重要語句の意味や、話の状況設定に表れた歴史的背景を理解することができる。	行動の確認
○魚の生態を明らかにしていく文章を読み、自然と人間との関わりについて考えを広げる。 ○データをもとにして進めていく論理展開を明らかにし、筆者の主張を読み取る。 C読むこと(1)イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)	5	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	松浦啓一「魚は陸から離れられない」	関心・意欲・態度	魚の生態や、魚と人間との関わりについて考えようとする。	魚の生態や、魚と人間との関わりについて、文章だけでなく、図版やグラフなどを通じて考えようとしている。	行動の観察
				読む能力	筆者の主張を、文章だけでなく、図版やグラフなどの資料の情報で検証しながら理解している。	文章と、魚の生態に関する図版やグラフなどの示す数値とを照合しながら、筆者の主張を読み取っている。	記述の確認
				知識・理解	具体例、参照すべき図版やグラフの数値が論理と結びつけて展開される文章の構成を理解している。	具体例や図版、グラフの数値などが筆者の主張の論拠となり、説得力のある文章となっていることを理解している。	記述の確認
○人間の廃棄物によって死に追いやられる海亀に関する同一の事実を扱った、意見広告と新聞記事を比較し、文章の目的、文体や書き方の違いを捉える。 C読むこと(1)オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)	1	C読むこと(2)ウ 現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し、自分の考えをもって話し合うこと。 C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。	海ガメの無念	関心・意欲・態度	同一の事実に対して、目的が異なると書き方がどのように違うのか、考えようとする。	同一の事実に対する書き方の違いにより、受け手の印象がどのように違うか、考えようとしている。	行動の観察
				読む能力	目的によって、さまざまな文章の書き方があり、それによって読み手に伝わる内容や印象が異なってくることを理解している。	意見広告と新聞記事の文章の違いを比較し、その違いはどのような点にあるのか、理解している。	行動の観察
				知識・理解	文章の種類により、文章表現や構成などにどのような違いがあるのか、理解している。	意見広告と新聞記事の文種の違いにより、文末表現、引用の仕方、文章の構成などにどのような違いがあるのか、理解している。	行動の観察
○グラフや表などの資料から情報を正確に読み取り、その情報を生かして自分の考えを文章にまとめる。 B書くこと(1)イ・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)	6	B書くこと(2)イ 出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。	情報の読み方・扱い方	関心・意欲・態度	グラフから情報を的確に読み取り、それに基づいて自分の意見を述べようとする。	グラフを見て、その情報から読み取れる特徴や問題点について、自分の意見をもち、文章にまとめようとしている。	行動の観察
				書く能力	情報の確かさを判断し、その情報が表している特徴を理解し、自分の意見を述べている。	調査方法の妥当性を確かめ、グラフから情報を適切に読み取り、自分の意見を文章にまとめることができている。	記述の分析
				知識・理解	グラフの統計数値を分析する方法について理解し、それを文章にのり的確に人に伝える方法を身につけている。	グラフから特徴的な傾向をつかみ、それを分析して文章にするための語句の使い方などを身につけている。	記述の確認
○何度も音読し、「蛇足」の意味を明らかにして、たとえの面白さを味わう。 C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)・イ(ア)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	蛇足	関心・意欲・態度	漢文に関心を抱き、故事成語に興味を持つ。	「蛇足」の成り立ちを理解し、日常に故事成語が多く存在することに気付く。	行動の観察
				読む能力	場面を理解し、登場人物の心情を考えることで、故事成語の面白さを味わう。	登場人物の場面状況を把握し、その状況に相応しい心情を述べるができる。	記述(発表)の点検
				知識・理解	訓読法を理解する。	返り点を理解し、訓読漢文を書き下し文に改めることができる。	記述(発表)の点検

【課題・提出物等】

- ① 授業で使用したプリントやワークシート
- ② 授業で作成したスピーチ原稿、ブックガイド、新聞投書
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 2 学 期

月	学習のねらい 「学習指導要領」の 指導事項	配 当 時 間	言語活動例	教材	単元目標	具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲	
9	○一人の人間と戦争との 関わりをもとに、人間の 生き方について考えを深 める。 ○文章の構成に着目して できごとを捉え、筆者の 思いを読み取る。 C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項 イ (ア)(イ)・ウ(ア)	3	C読むこと(2)イ 文字、音声、 画像などのメデ ィアによって表 現された情報を、 課題に応じて読 み取り、取捨選 択してまとめる こと。	黒柳徹子「ツ ゴイネルワイゼ ン」	関心・ 意欲・ 態度	状況と人物との関わりにつ いて注意を払いながら文章を 読もうとする。	豊かな想像力で、描かれた場 面を思い描き、それぞれの場 面における人物の思いを文章 から読み取ろうとしている。	行動の観察	第2 学期 中間 考 査
					読む 能力	一つ一つのエピソードが語 っていることの意味を理解し ている。	それぞれのエピソードを意味 のまとまりと考え、その意味 を記述をふまえて読み取っ ている。	行動の確認	
					知識・ 理解	文章の組み立てにおいてエ ピソードが挿入されているよ うな場合の文章構成や時間の 把握ができています。	父親の思い出、自分の思い出、 父の知り合いの人が語る挿話 など、現在と過去の錯綜する 事実を時間軸にそって捉えて いる。	行動の観察	
	○繰り返される言葉に着 目して、筆者のものの感 じ方を捉え、味わう。 C読むこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項ア(イ)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、 画像などのメデ ィアによって表 現された情報を、 課題に応じて読 み取り、取捨選 択してまとめる こと。	五月ばかりなど に(枕草子) コラム三大随筆	関心・ 意欲・ 態度	音読しながら、文章の特徴や キーワードを発見しようとし る。	音読しながら、「をかし」が文 末表現として繰り返されてい ること、また、視覚・触覚・ 嗅覚で捉えた「をかし」の感 覚であることなどの文章の特 徴を捉えようとしている。	行動の観察 記述の確認	
					読む 能力	情景を思い浮かべながら、場 面や人物の動きを捉え、筆者 が「をかし」と捉えた「美」 の瞬間を、自分の感覚と照ら し合わせて考えている。	描かれているのが、牛車に乗 っての外出であり、筆者がそ の中から捉えた瞬間であるこ とを理解し、その感動がどう いうものであったのかを自分 の感覚と照らし合わせて理解 している。	行動の観察 記述の確認	
					知識・ 理解	基本的な助動詞の役割や意味 を理解している。 「枕草子」の文学史的意義を 理解している。	助動詞が文章に表情を与える 役割をもつことを理解してい る。 「枕草子」の文学史的意義と、 背景にある貴族社会のありよ うについて理解している。	行動の確認	
	○感情を示す微妙な言葉 遣いに注意して、描かれ ている内容を想像する。 C読むこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項ア(イ)	1	C読むこと(2)ア 文章を読んで 脚本にしたり、 古典を現代の物 語に書き換えた りすること。	にくきもの(枕 草子) 古文のとびら2	関心・ 意欲・ 態度	一つ一つの叙述を追いなが ら、微妙な言いまわしを感じ 取り、文章の特徴を捉えよう とする。	筆者の個性的なもの見方 の特徴を、叙述の中から、自 分の経験と照らし合わせなが ら捉えようとしている。	行動の観察	
					読む 能力	助詞や助動詞の微妙な意味 に注意しながら、筆者が表現 している思いを感じ取ってい る。	巧みで微妙な文体による表現 が、筆者の思いや人間性を生 き生きと映し出していること に気づいている。	行動の確認	
					知識・ 理解	表現技法が文章に与えている 効果について理解している。	冒頭の「にくきもの」の体言 止めや、繰り返されている文 末の連体形などがあげている 表現上の効果を捉えている。	行動の確認	
	○リズム感のある表現を 味わいながら、「人と栖」 に対する筆者の考え方を 理解する。 C読むこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項 ア (イ)	1	C読むこと(2)ア 文章を読んで 脚本にしたり、 古典を現代の物 語に書き換えた りすること。	ゆく河の流れ (方丈記)	関心・ 意欲・ 態度	本文のもつリズム感を意識 しながら音読することができる。	仮名遣いや句の切れ目などに 気をつけて、音読している。	行動の観察	
					書く 能力	比喩に注意しながら、「人と栖」 に対する作者の考え方を理解 することができる。	栖とそこに住む人のどのよう なところが「ゆく河の流れ」 や「うたかた」と共通してい るのかを理解している。	記述の分析	
					知識・ 理解	対句の概念を理解した上で、 対句的表現を指摘することが できる。和漢混淆文がどのよ うなものかを説明することが できる。	本文中に見られる対句的表現 を指摘することができる。本 文中に漢文訓読調の表現と和 文特有の表現があることに気 づくことができる。	記述の確認	
○「自分にしか書けない こと」を発見し、その意 味を捉えて、他者に伝え る。 ○書き上げた自分の文章 を客観的に読み直すとも に、他者の文章表現か ら学び合う。 B書くこと(1)ア・エ 伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項 イ (ア)(イ)	10	B書くこと(2)ア 情景や心情の 描写を取り入れ て、詩歌をつ くったり随筆な どを書いたりす ること。	私の発見や変容 を伝える 感想 文・報告文 ブックガイド3	関心・ 意欲・ 態度	自分の体験を想起し、その意 義について考えようとする。 文章を読み合い、文章表現 について積極的に意見交換を しようとする。	自分の体験などを思い出して、 メモに書き出そうとしている。 読むことに集中し、コメント を書こうとしている。	記述の確認 記述の確認		
				書く 能力	相手や目的に応じて題材を選 び、文章の形態や文体、語句 などを工夫して書いている。 適切な表現の仕方を考えて書 いている。 優れた表現に接して、その条 件を考え、自分のものの見方、 感じ方、考え方を豊かにして いる。	心に残るできごとを取り上げ ている。 できごとの様子がよく伝わる ように書いている。 他者の文章を読み、優れた点 を学び取っている。	記述の分析 記述の分析		

10				知識・理解	文章表現の特色及び言語の役割などを理解している。 文章の組立てを工夫するとともに、適切な語句を選択して使っている。	「伝達」「認識」「思考」「創造」という言語の四つの機能を理解している。 「書き出し」と「結び」とが対応した論旨の一貫性のある文章を書いている。	記述の確認 記述の確認		
	○振り返りに注意して音読し、詩の世界を豊かに思い描く。 C読むこと(1)ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)(イ)・イ(ア)	5	C読むこと(2)ア 文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。	漢詩の世界 コラム日本人と 唐詩 漢文のとびら漢詩の形式	関心・意欲・態度 読む能力	想像力を働かせながら漢詩を読み、そのリズムの良さを味わう。 漢詩に描かれている場面や風景を味わい、作者の心情を読みとる。	詩の内容を確かめながら、詰まるところ無く音読することができる。 語句の意味、詩句の内容、詩句と詩句の繋がり、全体の構成を理解し、作者の心情を読みとっている。	行動の観察 行動の観察	
				知識・理解	唐代の時期、漢詩のきまりについて理解する。	唐代の時期区分、形式・押韻・対句などの漢詩のきまりを理解している。	行動の観察		
	○母の入院にまつわる少年の思いの変化を読み深める。 ○会話文を手がかりに、場面ごとの人物の心情を捉える。 C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)	5	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	重松清「バスに乗って」	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	登場人物たちの心情を文章に即して考えようとする。 できごととそれに伴う登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わっている。 登場人物の心理に関わる地の文や会話の言葉のニュアンスが読者の心を捉える表現上の効果をあげていることに気づいている。	登場人物たちのせりふに込められた思いについて考えようとしている。 主人公の少年と、バスの運転手の河野さんとの会話を中心に主人公の心情の変化を読み味わっている。 地の文に描かれた登場人物達の行動や表情の描写、そして会話文などのニュアンスが生み出している効果に気づいている。	行動の確認 記述の点検 記述の点検	
	○物語の中にたち現れる生命観や人間観・自然観について理解を深める。 ○擬声語・擬態語・比喩などの表現のおもしろさを味わう。 読む オ 伝国イ(ア)(イ)・ウ(ア)	4	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。	宮沢賢治「なめとこ山の熊」	関心・意欲・態度	筆者の語りが生み出す物語のおもしろさを感じ取ろうとする。	「なめとこ山の熊のことならおもしろい」という冒頭の語りと言う「おもしろさ」がどういう点にあるのかを理解しようとしている。	行動の確認	
					読む能力	小十郎の生き方や考え方の変化を通じて、筆者が何を表現したかったのかを考える。	場面ごとの小十郎の熊への思いを読み取ることにより、筆者の世界観を理解している。	記述の点検	
				知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。	文の段落構成や、使用されている四字熟語や慣用句などの意味を的確に把握している。	記述の点検		
11	○興味をもった本の内容やその魅力をレジュメを使いながら口頭で発表する。 ○他者の発表を聞き取り、適切に記録を取る。 A話すこと・聞くこと(1)ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)	5	A話すこと・聞くこと(2)イ 調査したことをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。	この本を読んでみて！ブックトーク	関心・意欲・態度 話す・聞く能力 知識・理解	内容が伝わるように工夫して発表しようとする。 発表を聞き取り、記録を取ろうとする。 内容が伝わるように工夫して発表している。 発表を聞き取り、記録を取っている。 他者に正確な情報を伝達するための言語の役割と、話し言葉の特徴について理解している。	レジュメに基づき、適切に聞き取れるよう発表しようとしている。 発表を聞きながら、教科書を参考に記録用紙を作成しようとしている。 レジュメに基づき、適切に聞き取れるよう発表している。 発表を聞きながら、教科書を参考に記録用紙を作成している。 情報を正確に伝達するための話し言葉における言葉の使い方や話し方について理解している。	行動の確認 記述の確認 行動の分析 記述の確認	
	○物語の展開に注意して、登場人物の状況や主人公の気持ちを読み取る。 C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	芥川(伊勢物語)	関心・意欲・態度	登場人物の行動と心情を捉えようとする。	物語の場面を想像し、登場人物の思いを捉えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	登場人物の具体的な動作などから心情の変化を読み取り、最後の和歌にこめられた思いを理解している。	物語に描かれている時間、場所、状況を的確に把握し、動作や行動から登場人物それぞれの思いを捉え、主人公の思いを集約している和歌の意味を理解している。	行動の確認	
				知識・理解	「係り結び」について基本的な理解ができている。	「係り結び」が使用されている部分が、なぜ強調されているのかを理解している。	行動の確認		
○和歌に注意しながら、場面の展開や登場人物の気持ちを捉える。 C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)(イ)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめる	筒井筒(伊勢物語)	関心・意欲・態度	文章の中に表現されている当時の人々の生活や文化を知ろうとする。	当時の人々の、男女関係や結婚、成人などの習俗のありかたを知ろうとしている。	行動の確認		
				読む能力	登場人物の心情を読み取り、和歌との関係を捉えている。	三首の和歌に、それぞれ誰のどのような気持ちがこめられているのか読み取っている。	行動の分析		

第2学期期末考査

		こと。		知識・理解	歌物語というジャンルと、使われている和歌の修辞について理解している。	歌物語における和歌の重要性と、使われている和歌の修辞があげている効果を理解している。	記述の確認
○「筒井筒」に関する現代の文章を読み、自分の解釈と比較しながら、古文に対する理解を深める。 C読むこと(1)エ・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)	1	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。	「筒井筒」について(俵万智『恋する伊勢物語』より) コラム平安時代の結婚	関心・意欲・態度	この文章と自分の解釈とを比べ、自分の解釈がどのように深まったのか考えようとする。	筆者の解釈と自分の解釈との違いが、どこから生じたのか、考えようとしている。	行動の観察
				読む能力	現代的な解釈をとおして、昔の人達の思いや生活文化と今の私達との共通点や違いについて考えを深めている。	「幼なじみ」「恋」「成人」「結婚」という人生それぞれの場面における昔の人達の習俗や考え方と、今の私達のそれとを比較し、人間に対する理解を深めている。	行動の確認
				知識・理解	和歌というものが日本の優れた伝統文化の一つであり、時代を超えて歌い継がれ、人々の心を捉えてきたことを理解している。	「歌物語」の中で和歌が感動の中心を占めていることにも示される、和歌という短詩型文学がもつ優れた特性を理解している。	行動の観察
○繰り返し読んでリズムを味わい、短歌に表現された情景と心情を読み取る。 ○繰り返し読んでリズムを味わい、選び抜かれた言葉を手がかりに俳句に描かれた世界を豊かに想像する。 C読むこと(1)オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(イ)・ウ(ウ)	2	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。	「遠い片手(短歌九首)」 穂村弘「麦わら帽子のへこみ」ブックガイド4 「春のオルガン(俳句十二句)」	関心・意欲・態度	繰り返し読んでそれぞれの短歌や俳句のリズムを読み比べ、その面白さを理解しようとする。	短歌や俳句を読み比べ、リズムを味わい、それぞれの短歌や俳句の違いやおもしろさを感じ取ろうとしている。	行動の観察
				読む能力	短歌や俳句に表されている情景や心情を理解し、さらに解説文や関連書籍を読んで定型詩に関する興味を広げ、理解を深めている。	それぞれの短歌や俳句がどのような情景をよみ、どのような心情を表しているのか、解説文や書籍などをふまえて、理解を深めている。	記述の分析
				知識・理解	短歌や俳句の修辞や、語句の用い方について理解している。	短歌や俳句における語句の効果的な使い方や、修辞の技巧がもたらす効果について理解している。	行動の確認 記述の分析
○意味の切れ目に注意して音読し、作品世界をイメージ豊かに味わう。 C読むこと(1)ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)・イ(イ)	3	C読むこと(2)ア 文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたこと。	うたう心 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 コラム三大歌集 古文のとびら3	関心・意欲・態度	歌の調子に気をつけて音読しようとする。	歌の調子、意味の切れ目に注意して音読し、作品世界を味わおうとしている。	行動の観察
				読む能力	それぞれの歌に描かれた情景と意思を読み取ることができている。	それぞれの歌に描かれた情景と意思を読み取り、わかりやすく説明することができている。	行動の確認
				知識・理解	和歌の修辞について理解している。『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の文学史的意義を理解している。	『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の作られた時代や、言語・内容・修辞等の特徴を理解している。	記述の確認
○小説に使われている比喩表現を題材に、効果的な比喩の使い方や文章表現の仕方を身につける。 B書くこと(1)ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)	2	B書くこと(2)ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくらせたり随筆などを書いたりすること。	原作と勝負!	関心・意欲・態度	小説の一節にならって自分の思いを表現しようとする。	小説の文章の面白さを捉え、それにならって自分の思いを表現しようとしている。	行動の観察
				書く能力	課題として取り上げられている文章の条件を把握し、適切な表現方法を考えて書いている。	指定された条件にあった効果的な比喩が考えられ、適切な文章表現がなされている。	記述の分析
				知識・理解	比喩による表現方法の多彩さを理解している。	文脈の中での正しい比喩の使い方について理解している。	記述の分析
○二つの水の姿を捉え、東西の文化の違いについて考えを深める。 ○対比的表現に着目して、筆者の考えを読み取る。 C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(イ)・ウ(ウ)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	山崎正和「水の東西」	関心・意欲・態度	文章を読んで、東西の文化の違いについて考えようとする。	日本と西洋の水の比較から、東と西の文化の違いについて考えを深めようとしている。	行動の観察
				読む能力	対比表現に着目し、筆者の主張を的確に読み取っている。	筆者の主張する、鹿おどしと噴水の比較から捉えた、日本と西洋の水に対する考え方の違いについて、的確に理解している。	記述の分析
				知識・理解	二項対立によって展開される評論の基本的な形式について理解している。	東西で異なる水に関する具体例と論理によって展開される、二項対立による評論の基本的形式を理解している。	記述の分析
○日常生活の中の「問題解決の方法」について、考えを深める。 ○文章の構成を明らかにするとともに、繰り返し出てくるキーワードに着目して、要旨を捉える。 C読むこと(1)イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(イ)・ウ(ウ)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	堀井秀之「問題解決の心理学」	関心・意欲・態度	文章のキーワードを捉え、自分の言葉に直して説明しようとする。	文章の主張の中心となるキーワードを捉え、その意味を自分の言葉で説明しようとしている。	行動の観察
				読む能力	評論に使われているキーワードや表現を自分なりに捉え、わかりやすく説明している。	「問題解決のメカニズム」に関するキーワードや表現を、自分の言葉でわかりやすく表現している。	記述の分析
				知識・理解	文章の中の重要な語句の意味や、全体の中でのその役割に	文章中の重要語句の意味を理解し、それが筆者の主張とど	記述の分析

					について理解している。	のように結びついているのかを理解している。	
<p>○お互いの意見に耳を傾け合って、よりよい考えを導き出す話し合いの大切さを理解する。</p> <p>A話すこと・聞くこと(1)ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)</p>	4	<p>A話すこと・聞くこと(2)ウ 反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話し合いや討論などを行うこと。</p>	<p>討論ゲームを楽しむ</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>積極的に討論に参加する姿勢を身につけようとする。</p>	<p>相手の話の内容を適切に受け止め、筋道を立てて、討論の場にふさわしい言葉遣いで自分の意見を述べようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
				<p>話す・聞く能力</p>	<p>話し合いの中で適切に話したり、聞いたりする力を身につけている。</p>	<p>相手の話の内容を適切に受け止め、筋道を立てて、討論の場にふさわしい言葉遣いで自分の意見を述べている。</p>	<p>行動の観察</p>
				<p>知識・理解</p>	<p>討論の際の、言語によるコミュニケーションが、集団の中でもつ必要性について理解している。</p>	<p>正しい討論の方法を身につけることが自分や集団のあり方をよりよく調整し、高めていくことを理解している。</p>	<p>行動の分析</p>
<p>○『論語』の言葉に表された、人生や人間についての考え方を捉え、自己の問題として考える。</p> <p>C読むこと(1)イ・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(イ)・イ(ア)</p>	5	<p>C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p>	<p>論語の言葉 コラム孔子の人生</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>孔子の言葉を現代と比較して考える。</p>	<p>孔子の言葉が現代に通じることを理解している。</p>	<p>行動の観察</p>
				<p>読む能力</p>	<p>孔子の考え方を理解する。</p>	<p>語句の意味、章の内容を理解し、孔子の言葉に込められたものの考え方・見方を読みとる。</p>	<p>行動の観察</p>
				<p>知識・理解</p>	<p>訓読法を理解し、訓読漢文を書き下し文に改める。</p>	<p>訓読に必要なきまり（返り点・置き字）、書き下し文に改める際のきまり（助詞・助動詞・置き字）を理解している。</p>	<p>記述の点検</p>

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した手紙文・レポート
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 3 学 期									
月	学習のねらい 「学習指導要領」の 指導事項	配 当 時 間	言語活動例	教材	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲
1	<p>○現場での人間の仕事が生み出す豊かな仕事言葉について考えを深める。</p> <p>○文章の構成を整理し豊かな日本語と仕事言葉に対する筆者の考えを読み取る。</p> <p>C読むこと(1)イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)</p>	2	<p>C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。</p>	<p>小関智弘「豊かな仕事言葉」</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>豊かな日本語や人間の仕事が生み出す豊かな仕事言葉に関して自分なりの考えをもつ。</p>	<p>日本語・和語・大和言葉に関心をもち、現場で使い分けられる仕事言葉、その意義について自分の考えをもとうとしている。</p>	<p>行動の観察 記述の確認</p>	第3学期期末考査
					<p>読む能力</p>	<p>文章の構成を整理し、雪や色を表現する言葉、現場で培われた仕事言葉に対する筆者の考えを読み取る。</p>	<p>雪や色に関する日本語の豊かさから仕事言葉への論の展開を整理し、手応えを感じながら作業をするときに現場で生まれる、豊かな仕事言葉の意味を捉えている。</p>	<p>記述の確認</p>	
					<p>知識・理解</p>	<p>語句の意味・用法、漢字を理解し、言語の果たす役割について理解を深める。</p>	<p>本文中での語句の意味・用法や漢字を理解し、わかり合うという、言語の認識や伝達の機能を理解している。</p>	<p>記述の確認</p>	
	<p>○科学における「発見」とは何か。筆者の体験をおとした考え方について理解を深める。</p> <p>○故事成語を中心にした文章展開を捉え、故事成語が何のたとえになっているかを読み取る。</p> <p>C読むこと(1)オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)</p>	2	<p>C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。</p>	<p>福岡伸一「『発見』最初は気づかない」</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>科学的な探究とはどういうものか、考えを深めようとする。</p>	<p>筆者の幼い頃からの生物とのふれあいの歴史について読み、科学的な探究とはどういうものか、考えを深めようとしている。</p>	<p>行動の観察 記述の確認</p>	
					<p>読む能力</p>	<p>科学的な発見に立ち向かう科学者の精神のありかたや、対象の捉え方について考えを深める。</p>	<p>筆者が、科学的発見に立ち向かう科学者の精神のありかたや対象との向き合い方についてどのように考えているか、理解している。</p>	<p>行動の観察 記述の確認</p>	
					<p>知識・理解</p>	<p>主要な常用漢字の音訓を理解する。</p>	<p>主要な常用漢字の音訓を正しく理解し、書くことができる。</p>	<p>記述の確認</p>	
<p>○マンガのせりふや絵から情報を読み取り、その情報を論理的に詳述する。</p> <p>B書くこと(1)イ・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ</p>	2	<p>B書くこと(2)ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をついたり随筆などを書いたりすること。</p>	<p>マンガの楽しみ</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>4コママンガの限られた情報から、想像力をはたらかせ、登場人物の状況を考えようとする。</p>	<p>マンガの絵から登場人物がおかれている状況や性格などを想像し、考えようとしている。</p>	<p>記述の確認</p>		
				<p>書く能力</p>	<p>4コママンガの限られた情報から、主人公のおかれている</p>	<p>4コママンガの限られた情報から想像し、登場人物のおか</p>	<p>記述の分析</p>		

	(ア) (イ)				状況や性格などを根拠に基づいて読み取り、文章にしている。	れている状況や性格・思いを根拠に基づいて読み取り、適切に捉えて文章を書いている。		
					知識・理解	課題として提示されている条件の文章を的確に把握し、適切な文体と言葉遣いで文を書いている。	このマンガにふさわしいせりふの文体や、適切な文体と言葉遣いで説明の文章を書いている。	記述の分析
3	○会話の内容と意図を明らかにし、人物のものの見方や生き方を捉える。 C読むこと(1)ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア) (イ)・イ(ア)	4	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	木曾の最期(平家物語) 古文のとびら4 コラム源氏物語の世界	関心・意欲・態度	音読を通じ、語り物独特の言葉遣いや調子の特徴を捉えようとする。	音読することをとおして、語り物独特の言葉遣いや、調子の美しさを感じ取ろうとしている。	行動の観察
					読む能力	登場人物の人物像と心情を読み取っている。	木曾殿と今井四郎の人物像をまとめ、互いを思い合う気持ちを読み取っている。	行動の確認
					知識・理解	『平家物語』の文学史的意義を理解している。敬語の意味と用法を理解している。	『平家物語』の文学史的意義を理解している。平家物語に特徴的な敬語について理解している。	記述の観察
3	○追いつめられた状況の中での、人間の考え方や心の動きについて考える。 ○場面の推移や比喩表現に注意しながら、主人公の心理の移り変わりを捉える。 C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア) (イ)・ウ(ア)	6	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	芥川龍之介「羅生門」	関心・意欲・態度	場面の推移に従い、登場人物の心情や行動がどのような表現で描かれているか、理解しようとする。	下人のおかれている状況、老婆の考え方を捉え、二人の行動や心情の変化が、場面の推移に従ってどのような表現で描かれているかを理解しようとしている。	行動の観察
					読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を把握するとともに、ここに描かれている人物や状況が意味するものは何か、理解している。	比喩表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化、そしてそれが意味するものが何であるかを理解している。	記述の確認
					知識・理解	文章の構成を捉え、比喩などの表現技巧を文脈の中で理解している。	文章構成における場所や時間の設定、多用されている動物の比喩などの意味するものを的確に捉えている。	行動の観察
3	○新聞に載っている様々な情報に気づき、その内容に関してお互いに効果的に伝え合う。 A話すこと・聞くこと(1) ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア) (イ)	2	A話すこと・聞くこと(2)ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。	新聞を持ち寄って編集しよう まわし読み新聞	関心・意欲・態度	新聞をよく読み、いろいろな記事から新しい発見をしようとしている。	新聞のさまざまな箇所から記事を選択しようとしている。	行動の観察
					話す・聞く能力	記事について考えたことを、わかりやすく、効果的に発表し、また、相手の発言についても的確に理解し、反応を返している。	内容をわかりやすく伝え、聞き手が関心をもってくれるような話し方をしている。また、相手の発言に対して、理解が深まるような適切な感想や質問を返すことができる。	行動の観察
					知識・理解	新聞を編集するときの記事の選択や配置が適切なものになっている。	伝えたいことが適切に表現されるような工夫がなされている。	記述の確認
3	○主人公の行為の意図をとおして、人物像を明らかにする。 C読むこと(1)イ・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア) (イ)	6	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	蓋頭上題合字 前有大梅林 死諸葛走生仲達 (「三国志」の人々 史話を読む) コラム三国志を 楽しもう	関心・意欲・態度	本文をリズム良く読み、場面展開を理解する。	場面をイメージし、登場人物に感情移入して読むことができる。	行動の観察
					読む能力	登場人物の心情を理解し、その行動について客観的に評価する。	登場人物が取った行動について、その意図を理解し、全体の流れの中でそれが妥当かどうか意見を述べることができる。	行動の観察
					知識・理解	訓読法の意義を理解し、書き下し文にすることによって内容の概要を理解する。	日本語と漢文の違いから日本語の特質を理解し、書き下し文にすることで話の概要を読解することができる。	記述の観察
3	○「届く言葉」と「届かない言葉」の違いについて考えを深める。 ○具体例の内容と、それを示す意図を捉え、筆者の主張を明らかにする。 C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア) (イ)・ウ(ア)	2	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。	鷲田清一「届く言葉、届かない言葉」	関心・意欲・態度	心に届く言葉とはどのようなものかについて考えようとする。	心に届く言葉とはどのようなものかについて考えようとしている。	行動の観察
					読む能力	事例と考えとを区別しながら、筆者の考えの中心を捉えている。	事例と考えとを的確に区別でき、筆者の考えの中心がどこに書かれているか、捉えられている。	記述の確認
					知識・理解	文章の構成における段落と段落との関係について理解している。	主に事例を述べている段落と、考えを述べている段落とを判別することができる。	記述の確認

<p>○身のまわりや社会に目を向け、気づいたことに対する意見を文章にまとめる。</p> <p>○自分の意見を事実や体験に基づいて客観的に述べる。</p> <p>B書くこと(1)ア・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)</p>	8	<p>B書くこと(2)イ 出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。</p> <p>B書くこと(2)ウ 相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。</p>	<p>新聞に投書してみよう</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>身のまわりや社会に目を向け、気づいたことに対する意見を積極的に文章にまとめる態度を身につけようとする。</p>	<p>身のまわりや社会に目を向け、そこから問題を発見しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
				<p>書く能力</p>	<p>自分の主張を他人に伝えるため、題名のつけ方や文章の組み立てに留意して、わかりやすい文章を書いている。</p>	<p>何を書くのか、主張を明確にし、また自分の立場を明確に示して文章を組み立て、読みにわかりやすい文を書く力を身につけている。</p>	<p>記述の分析</p>
				<p>知識・理解</p>	<p>自分の意見とその意見を裏付ける事実や体験が述べられている。</p>	<p>不特定多数の読み手を意識して、自分の意見をその根拠となった事実や体験をまじえながら文章にまとめている。</p>	<p>記述の分析</p>

【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した創作文
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第3学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

<p>確かな学力を身につけるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「国語総合」は、小学校・中学校の国語の授業で学んできたことを受け継ぎ、その内容を発展させた総合的な科目です。国語の表現力、理解力を身につける努力に加え、それらの能力を基盤として、人と人の関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、互いに伝え合う力を高めることをこころがけてください。また、古典をはじめとする様々な言語文化に目を向け、それらを享受して、国語を愛し育てる態度を培ってください。 ・目的や課題に応じて、様々な情報を収集し活用して、進んで表現するよう努めてください。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理しましょう。
<p>授業を受けるにあたって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物等は期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。

(2) 担当者からのメッセージ

「国語総合」では、言葉をとおして現実をみつめ、主体的に生き、伝え合う力を高めて、21世紀における新たな日本を切り開くことができる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的に言葉にかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。